

郷川津庄本郷村波布明神も同神也、

連胤 按るに、本宮は嶋に在せば、常に參詣も難き故に、本郷村にも遙宮として祭れるなるべし、

神位

文德實錄、仁壽二年十二月丙子、加伊豆國波布比賣命從五位上、又齊衡元年六月己卯、加伊豆國波布比賣命神從五位上、出位重

伊賀牟比賣命神社

伊賀牟比賣は假字也○祭神明か也○小濱に在す、今淺間神社と稱す、志

或云 伊賀牟は井上井上也、小濱の池上に坐せば也、神官云、木花開耶姬を祭ると、今姫の宮と申すと云り、又云、第二宮と稱す、東鑑にも出たり、淺間は舊第三宮也、第二宮八幡、三島大社の中に引しより、淺間を第二に上げ進めたりと云り、

神位

國內神名帳云、正一位千眼大菩薩、

或人云、千眼淺間音同じきを以て、遂に佛名と爲れり、

伊古奈比咩命神社

名神大

伊古奈比咩は假字也○祭神明か也○白濱村に在す、今白濱明神と稱す、志例祭 月 日、○式三、臨時 名神祭二百八十五座、略伊豆國伊古奈比咩命神社一座、

伊豆志云、傳曰、孝安天皇六年ニ建立ス、三島明神伊豆へ渡リ此ニ御坐マシ、夫ヨリ三島へ遷ラセ玉フ、因テ此ヲ古宮ト云、又五社大明神トモ云、三島ト同ク、其ニ神ハ詳ナラズ、古へハ神領七十餘町、祠宇大社家卅六戸、祭祀年ニ七十五度、諸式皆三島ト異ナル事ナシ、慶長十二年三月大久保長安所納ノ金、伊古奈比咩命ト刻ス、同十八年長安亡ヒテ後此社大ニ衰頽セリ、今ハ祠田ナク、彌豆原氏一人、ソノ他ハ百姓ノ内卅六人ヲ定メオキテ祭ノ形ヲツトム、又或人云、祠前ノ池モ亦既ニ埋レタリ、東ノ方ノ御陵ヲ御釜ト云、恰モ端釜ノ形也、城内ノ古柏樹タゞニ千年ノミナラズ、舊記云、伊豆ノハシカミハ名物ナリ、白濱明神ノ御神草也、三島明神ハ菅也、伊豆ノハヅレニ白濱明神御立ナサレ候故、ハシカミト云フ義ニテ、生菱ヲ御神草ト云フ也、伊勢早雲寺殿豆州へ御打入ノトキ、白濱ノ神主ハシカミヲ進上ノトキニシキ殿狂歌ノ由也、「草ノ名モ所ニヨリテ替リケリ伊勢ノ生菱ハ伊豆ノ菱、亦東浦御手ニ入テ早雲寺御歌、神風ヤ伊勢ノ濱荻アフキ來テ今ソ手ニトル伊豆ノハシカミ」、

神位 名神 官社

日本後紀纂、天長九年五月庚戌、伊豆國伊古奈比咩命神預ニ名神、伊豆國神社文德實錄、嘉祥三年十月壬子、伊豆國伊古奈比咩命神授從五位上、同年十一月甲戌朔、詔以伊豆國伊古奈比咩神列官社、仁壽二年十二月丙子、加伊豆國伊古奈比咩命神正五位下、又齊衡元年六月己卯、加伊豆國伊古奈比賣神正五位下、同位重